

タグラグビーセット寄贈

県ラグビー協会 寄居・4小学校に

県ラグビー協会の尾崎良巳副会長らが16日、寄居町役場に花輪利一郎町長を訪ね、町立小学校4校にタグラグビーの用具セットを贈った。2019年のラグビー・ワールドカップ(W杯)に向けた競技普及の取り組みで、近く県内の小学校126校に無償提供される。

タグラグビーは、タックルなどの接触プレーがなく、競技の入り口として児童でも手軽に楽しめる。同協会は、県内の小学校800校以上にボールやタグなどの用具セットを提供

する計画を立て、20

00万円を目標に県内

経済団体や個人から寄

付を募っている。これ

までに約300万円が

集まり、同町が最初の

配布先に決まった。同

町は小学校全6校のうち

4校でタグラグビー

のモデル授業があり、

残り2校も来年1月に

実施する予定だ。

花輪町長は「今後は

全校でタグラグビーを

体育の年間指導計画に

取り入れたい」と歓迎

し、尾崎副会長は「W

杯への関心を高め、機

【三股智子】

寄居町の花輪利一郎町長（左）にタグラグビーの用具セットの目録を手渡す県ラグビー協会の尾崎良巳副会長＝寄居町で

